



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	國民社會についてN03 39
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Description	『鈴木栄太郎著作集 7 (国民社会学原理ノート)』を出版した際のソースとなった原稿である (同書内での言及による)。
Issue Date	1964-08-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77448
Type	manuscript
File Information	I043_01N0339S39.pdf



清涼亭集ノ11

11-3

39

NOTE BOOK

CONTAINING BEST RULED FOOLSCAP

國民社会について

No. 3.

38. 11. 22



意匠登録 No. 151492 11-2



目次

一、テレビの選挙用画面上の選挙を扱う	一
一、イラクのクレーンター	三
一、論述要旨	四
一、北平の枠組論と現代化論	七
一、清演大標	一三
一、全体記号論が不通になった理由	一六

それらの選挙結果に思や合を伺つ

細川隆元、廣島、^{外一}知五氏列席

選挙の結果を見ても前回のものと強と大差

ない、投票率が甚だ低く、口氏の陣

に低い、選挙結果を我々が低投票率。

カ、岸氏陣内に選挙を仰付け要は何

もわからず、少くとも口氏の生活は直結

した同じ選挙結果は要はなかつた。

政党内部の権力争い、上役の人の交代

の争い、そのため、政界の風潮にもつづく。

世の出来事、細川氏もろく、^{なる}なる。

投票率は中果に近程低く、^東東、

税高、^八八、^丈丈、^島島、^かか、^{一番}一番、^高高、^恐恐、^くく、^事事、

京都の中央区が一番低い

投票率 金日七、二% 市国⁵⁴七、五一

東京六、六

六、四二

政治は次第に荒しく中心では弱い事を意味
する。

イラクのクーデター(11.22朝日による)

イラクでは土曜日の夜からクーデターが始まっていた
が、十時頃ついに今は平穏な状況で首都バグダ
ッドもチクリス川畔にアヘンクモをくわくつて居る
のだ。このクーデターはバース党(アラブ社会主義
党)政権と同愛国激流の中核だった口貝組と保
衛隊を倒すために行われたものだ。つまり過激
革新党が占拠している政府を倒し温健な政
治に導かんとするものなのだ。アレフ大統領がこの
革命の指導者である。大統領は過激派
にこれ木下秀雄は引いて回すつもりなのだろうか。
氏革命は思想の対立の対多からである。
世界最古の文明の發祥地にあつたクーデター
として意味深い。

論述要領

私は何故に日民親善と云ふ語を用いた
ければならぬかを説明するやうであるが、
言葉の上の同じで内容の異なるだけのも
で、あたかも二で三を言ふやうに、従来二三
等しいが、余は、此等と云ふは、中土のものと強
同義の語であるが、日民親善と云ふは、
よ、善好と云ふる深を脱けし、いかうと
云ふて、おく、
居住す、
近所にあると云ふ、土地の共同把握の
防護と云ふ事か、日民親善の、
上の結末の基礎、我々意識の源泉
である、日民は、この結末の上

※ 戸数
土地共同の據と云ふ事は、純然的
集團としての口家の目的であり
つまりニテ、いや合作は、や、口民
の、の

に形すされてゐたものであり、この
も実は従来の口家の理辭に支拂に
由るかにせられてゐる。高田博士が
基礎的なる自身の地蔵たる不
の言や論破を用ひてゐたのもこの
土地共同の據の所説と云ふ事を破
混さへなかつたかといふ事である。★
將近に主として又此の口民を
や口家の理辭に於ては、未だの認識の
ゆゑ、あつてゐる。と云ふ事
今、口民生活は急激に変化し
てゐる。従来は、理辭では不満足
であつた。祖傳を改め、替つて、必要の
に

あやうをばへたい。とんたへて、あやう
フーあ、か、とんたに、あやう、フーあ、か、を考
へて、あやう。

土地の昔、同じ様と、あやう、たて、あやう、同じ
に、あやう、の、あやう、境、であやう。

#

家族が中心に随分の特殊なものである

か、何れも認めることであらう、我々の世

界と彼等の世界の相違がある。

口内社会は国家の組織として生きている

社会的統一。口内内の世界。一部の

社会関係の拡大、付随する、経済の力、

その内の社会。着目する所は、その内、

、社会。曾ては都市も農村も社会

城壁が壊れていった。それと、さくは、

さく土地、村を築いた。口内社会

都市が築きあげた。口内社会の城壁

も壊れていった。

社会的組織と近代化

私は私の用語を社会学の生業、遠く

と、どんなに異い、どんなに類似してゐる

こと、誰か、多くをせぬ。只私が口内

屋の語をとり出したのは、社会関係の

性質によるのではなく、私、人間の社会

生活に強い組織として、はた、さげ、

基本的な社会的材料となつて、社会

的構成物を、基本的社会と、その

あ、そんな意味で、私の、さ、さ、さ、

人間生活を、随く、さ、さ、さ、

となつて、社会は、家族、村、都市、

口内社会である。それ、村、都市、

社会、さ、さ、さ、さ、さ、

口内社会、さ、さ、さ、さ、さ、

都市及び村落に人間生活に不可欠の
ものと思はれる。人は何れかの集落
生活に依存する。中には生れれば
死ぬまでその集落に居る人。
今は世界中に何れかの口に居る人。
口境外の土地は誰のものでもない。
口境をいかにせば、他は口境の内
に制入するものではない。
その口境内の人は集落になつて
この集落を司るものである。
口境内外は口境内外の集落の間にあ
る。口境内外は集落を司る集落の
一つ、口境内外の集落を司る集落の

つく集落を、何か特定の生活目的をも
つ集落とかいふのはない。集落の支
配力をもつと云ふのは、集落の支
配力をよきにして生活の環境を
よきものにする。集落の支配を
人間生活の中心に集落を司る集落
をよきものにする。集落の支配

民衆の内にある集團の一つである。

これは兄弟情誼に基いて起るものか、

国家の機能か、は民衆の共同

の原理である土地共同と云ふ

とある。土地共同は民衆の共同

の共同の原理でその発展を

機能としての一つの国家と云ふ

集團である。高田博士は金作の

各々のものの組織化をいふ金作の

各々のものもその形をその目的に

を用いた形である。地域

国家を政治体系の集團の上に共

同社會が形成されるもの(9)

(9)

国家發展を造るものか、は

そのものの上に行政近隣

の上に自然近隣が成長し行政

村落の上に自然村落が成長す

るを知らず実知である。

然し

口泉がア・ソシエーションの下で他の目的
 的集團の累積の上に共同化が来る
 この又は都市の構成のためには
 すゝかある。口泉は又口泉を
 他の目的に集團の累積の上に来る
 いふ又は先きに思ふすゝかある。
 その場合口泉は中他の集團の累
 積の上に建てるべき共同化
 自身の組織体ではなく、土地共同
 主義の協力を目的とする集團
 である。口泉は明白に集團の一つ
 ある。

口泉は共同体の思想を実現

一井の老えは人が植物の様に土地に
じつとくっついていた頃にふさわしい考へ
であつた。近頃の悪い交通通信
機具の発達と共に生活文化が一
変し人の生活生活は急変してい
る。是れに伴つて人同国同集團
構成原理も大變り、政治の
意味も變り、政權の争奪も變
り、誰が政權の座につく
どんな政權をやるか只その
かた、争奪は口外にも及ぶ。

すゝめの組織体であるとの考。その條
々人々の共同期付の中にもあるといふも
のとの明瞭な。＊
二小に對して、現存の世界の混亂の中に
現存される一國は、優越の集團が
他の集團を支配し、
他を保護して行く為の社長的關係
である。又對する關係を境の外に
押しめおするも辭さぬといふもあ
り得る。國家は常條に土地共同
占據者の上に作るものとの考を
ゆゑさなくない。

講演大要

一 前言
本書は同見研究會の刊の余の發表會

二 民生社會の用語

社會生活の其の基礎に對する余の考

實踐主義、社會的な方法の研

究、一、直接経験、
加、理論の起

基礎社會

家族

村落

都市
民生社會

基礎社會の意義は、親に人の社會

生活の基礎をなし、この基礎の

内と外とは我々の身と社會と

となり、此の社會の壓力が、この世界

を支配する。社會の基礎である

氏持てを考へ、その基礎の抵抗を感ず

口
境
錄

一口縁の二倍

戦々日本への口説き

最近の中共人のソ連大使館に上り参り
方境の人口中の一を占む

大體の人口中の一人

鉄の力、口と口の力、

日
境
の
一
種

和蘭の城

上

事落著候様なすは生さすめ
当町の穴居の中の人

當のR₂の準同型

二、經濟的職業的人口比率

隣りの家と云う家の家

2
15
1-2-3-4-5-6-7-8-9-10-11-12-13-14-15-16-17-18-19-20-21-22-23-24-25-26-27-28-29-30-31-32-33-34-35-36-37-38-39-40-41-42-43-44-45-46-47-48-49-50-51-52-53-54-55-56-57-58-59-60-61-62-63-64-65-66-67-68-69-70-71-72-73-74-75-76-77-78-79-80-81-82-83-84-85-86-87-88-89-90-91-92-93-94-95-96-97-98-99-100-101-102-103-104-105-106-107-108-109-110-111-112-113-114-115-116-117-118-119-120-121-122-123-124-125-126-127-128-129-130-131-132-133-134-135-136-137-138-139-140-141-142-143-144-145-146-147-148-149-150-151-152-153-154-155-156-157-158-159-160-161-162-163-164-165-166-167-168-169-170-171-172-173-174-175-176-177-178-179-180-181-182-183-184-185-186-187-188-189-190-191-192-193-194-195-196-197-198-199-200-201-202-203-204-205-206-207-208-209-210-211-212-213-214-215-216-217-218-219-220-221-222-223-224-225-226-227-228-229-230-231-232-233-234-235-236-237-238-239-240-241-242-243-244-245-246-247-248-249-250-251-252-253-254-255-256-257-258-259-260-261-262-263-264-265-266-267-268-269-270-271-272-273-274-275-276-277-278-279-280-281-282-283-284-285-286-287-288-289-290-291-292-293-294-295-296-297-298-299-300-301-302-303-304-305-306-307-308-309-310-311-312-313-314-315-316-317-318-319-320-321-322-323-324-325-326-327-328-329-330-331-332-333-334-335-336-337-338-339-340-341-342-343-344-345-346-347-348-349-350-351-352-353-354-355-356-357-358-359-360-361-362-363-364-365-366-367-368-369-370-371-372-373-374-375-376-377-378-379-380-381-382-383-384-385-386-387-388-389-390-391-392-393-394-395-396-397-398-399-400-401-402-403-404-405-406-407-408-409-410-411-412-413-414-415-416-417-418-419-420-421-422-423-424-425-426-427-428-429-430-431-432-433-434-435-436-437-438-439-440-441-442-443-444-445-446-447-448-449-450-451-452-453-454-455-456-457-458-459-460-461-462-463-464-465-466-467-468-469-470-471-472-473-474-475-476-477-478-479-480-481-482-483-484-485-486-487-488-489-490-491-492-493-494-495-496-497-498-499-500-501-502-503-504-505-506-507-508-509-510-511-512-513-514-515-516-517-518-519-520-521-522-523-524-525-526-527-528-529-530-531-532-533-534-535-536-537-538-539-540-541-542-543-544-545-546-547-548-549-550-551-552-553-554-555-556-557-558-559-560-561-562-563-564-565-566-567-568-569-570-571-572-573-574-575-576-577-578-579-580-581-582-583-584-585-586-587-588-589-590-591-592-593-594-595-596-597-598-599-600-601-602-603-604-605-606-607-608-609-610-611-612-613-614-615-616-617-618-619-620-621-622-623-624-625-626-627-628-629-630-631-632-633-634-635-636-637-638-639-640-641-642-643-644-645-646-647-648-649-650-651-652-653-654-655-656-657-658-659-660-661-662-663-664-665-666-667-668-669-670-671-672-673-674-675-676-677-678-679-680-681-682-683-684-685-686-687-688-689-690-691-692-693-694-695-696-697-698-699-700-701-702-703-704-705-706-707-708-709-710-711-712-713-714-715-716-717-718-719-720-721-722-723-724-725-726-727-728-729-730-731-732-733-734-735-736-737-738-739-740-741-742-743-744-745-746-747-748-749-750-751-752-753-754-755-756-757-758-759-760-761-762-763-764-765-766-767-768-769-770-771-772-773-774-775-776-777-778-779-780-781-782-783-784-785-786-787-788-789-790-791-792-793-794-795-796-797-798-799-800-801-802-803-804-805-806-807-808-809-810-811-812-813-814-815-816-817-818-819-820-821-822-823-824-825-826-827-828-829-830-831-832-833-834-835-836-837-838-839-840-841-842-843-844-845-846-847-848-849-850-851-852-853-854-855-856-857-858-859-860-861-862-863-864-865-866-867-868-869-870-871-872-873-874-875-876-877-878-879-880-881-882-883-884-885-886-887-888-889-890-891-892-893-894-895-896-897-898-899-900-901-902-903-904-905-906-907-908-909-910-911-912-913-914-915-916-917-918-919-920-921-922-923-924-925-926-927-928-929-930-931-932-933-934-935-936-937-938-939-940-941-942-943-944-945-946-947-948-949-950-951-952-953-954-955-956-957-958-959-960-961-962-963-964-965-966-967-968-969-970-971-972-973-974-975-976-977-978-979-980-981-982-983-984-985-986-987-988-989-990-991-992-993-994-995-996-997-998-999-1000-1001-1002-1003-1004-1005-1006-1007-1008-1009-1010-1011-1012-1013-1014-1015-1016-1017-1018-1019-1020-1021-1022-1023-1024-1025-1026-1027-1028-1029-1030-1031-1032-1033-1034-1035-1036-1037-1038-1039

中口
山口
山口
山口
山口
山口
山口
山口
山口
山口

壁のあ
とあ
い
上座
たの
の
上座
あか
家
金

口の
ワ
ト
ン
の
威
勢
が
際
か
た
の
は
十
北

紀
の
イ
4
+
か
上
7
4
か
7
は
1
8
7

たふさふさ

和歌集

五ノ市ノ域ノ壁ノ整ノ備

己陳述の
林、其
は土
層と不
同

人生苦海，有得有失，一苦一樂，一喜一悲。

如く、基礎の
比肩の
4.1.2 口民
元

是れと其の
 下敷に
 似て
 高田
 「お土の
 命

マキの木の葉の裏に

7
1
0
6
2
1

7
8
7
9
1
2
0
6

古今事物異同

自
身
身
區
一
南
北
蛇
糾

北方 1 台湾 軍人 軍事の道

□ 原稿と印刷との間に
一頁の差がある

の中にお集りた共同

◎土地共同は、民衆の上にたつて

家口の家であると思ふべき

中東の土地を多くをもち

土地を共同の共同地として

社会とか共同地としての金

口家をもつての上のいくつの

金をもつての土地を共同地として

金をもつての土地を共同地として

金をもつての土地を共同地として

金をもつての土地を共同地として

金をもつての土地を共同地として

金をもつての土地を共同地として

にその土地を暴露し、キリシヤ

哲学者の道に、いかに上にも美

され、現代化され、神聖化され

また口家かどうも、土地の

混乱を、口家かどうも、土地

を、土地を、土地を、土地を

口家に土地を、土地を、土地

この土地を、土地を、土地を

マキハラの土地を、土地を、

土地を、土地を、土地を、

土地を、土地を、土地を、

土地を、土地を、土地を、

土地を、土地を、土地を、

土地を、土地を、土地を、

土地を、土地を、土地を、

或いは舞臺が買の大小の道具であつて、

演劇のせい物、特許権は一言して、偉大な一団

か他の人にも支那し、影響する、場であ

る、まはたしかた。

1/ 法廷の復々、地域的範囲、2/ 生活の自足性

成金のすへて、すへての結合、自足的範囲、3/ (花内)

(金持の三要素) (高田) の三つの要素

金持の論が不満足、ある、た、戦中

一、思想、利害も、互に、相互、人

か、金、い、多、く、な、つ、た、進、ま、つ、た、い、

一、貴族、的、的、立、た、る、の、記、念、の、な、つ、た、

一、分、業、の、不、可、能、(新、報、の、位、)

一、階、級、の、均、衡、で、は、な、抗、争、の、思、想、の、

世、界、的、同、潮、の、増、大、し、て、い、る、

一、大、貴、族、が、優、越、の、時、代、の、終、り、の、

貴、族、が、口、元、の、最、高、位、置、に、つ、く、か、つ、た、

互、対、立、の、位、置、に、つ、く、か、つ、た、

一、兵、隊、の、変、革、の、時、代、の、終、り、の、

大、口、の、カ、リ、利、用、の、終、り、の、

大、口、の、争、奪、戦、が、多、く、な、つ、た、

16 口、元、は、大、口、の、カ、リ、に、返、す、か、つ、た、

一世帯中の口は大口に結いつけられ大口

同の対等のキセイとなすといふ

一口家は金体証券の基礎の上に成立す

のであるが金体証券が混雑してしまふ

金体証券は自身や期待するべきではない

一口家は自分達の為に自分達を作したもの

その考へも捨てなければならぬ大口

の必要の為に成立せしめざるは多い

一口家は口家は支配者が被支配者をも

持続的に支配する為に用ゐる用具

である。この用具は武器が設えつけて

ある。それは古も今も変わらぬ

17. 今の様子を大なりと見て、党派抗争の事実

は今に於てあるべきなり。村民地傭民の心

となり。此の口内は、新農民の立場に在

て居る。その下には、口内農民の

最高位の位置にあり。その特殊な立場に

より、其の立場は、口内農民の

本質は、新農民の立場に在る。其の

特殊な立場は、口内農民の立場に在る。

讀みよ。その下には、口内農民の立場に

あり。

(此の口内は、新農民の立場に在る。其の

特殊な立場は、口内農民の立場に在る。

集團は、新農民の立場に在る。其の

特殊な立場は、口内農民の立場に在る。

19

お三のもの口良江方を破断しよと云ふ。